

令和5年度いみず学生アイデアコンテスト 実証実験成果報告（概要）

提案者	本好きの学生たち（富山短期大学）	選択テーマ	小杉駅周辺地区の賑わい創出について
提案名	地域の場所を利用した「古本屋さん」		
提案概要	<p>空き家や空地、または地域の施設等を利用して「古本屋さん」を運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小杉駅周辺の課題として、駅利用者は多いが地域の人々が交流に利用できる場所が少ないことがある。 ・「古本屋さん」を開催することで、地域住民の方に空き家や空き地の利用方法を検討していただける。 ・本を通して、地域住民の方や学生同士で交流ができる。 		

実証内容

「古本屋さん」の開催

【1日目】

開催日時：2023年11月17日（金）14:00～17:30

開催場所：小杉駅地下道

【2日目】

開催日時：2023年11月19日（日）9:30～17:00

開催場所：救急薬品市民交流プラザ

- ・公共空間を活用して古本市を実施（計2回）
- ・学生自ら本の選書・清掃・本のリスト化を実施
- ・古本は富山ユネスコ協会から提供いただき、本の売上は同協会を通じて世界の子どもたちへの支援募金に寄附



富山短期大学 富山県立図書館 協賛 古本屋さん



実証成果

イベント来場者数：1日目84名、2日目192名（合計276名）

- ・テレビや新聞の取材あり（4社）
- ・チラシの配布を行わなかった小学校の児童も利用
- ・2日目について、開始時間と同時に多くの方が来場され、サービス配布のクッキー25枚分が約1時間で終了
- ・お子さんのいる家庭の親や、孫と一緒に訪れる方が多かったので、絵本の需要が予想よりも高かった。
- ・アンケートによると、10代から70代以上まで幅広い年代が来場され、市内市外もほぼ半数であった。



振り返り・今後に向けて

- ・今回、初めての試みとして小杉駅の地下道で古本市を行い、駅の利用者で興味を持って購入して下さった方や、逆に、普段駅は利用しなけれど古本市目的で来ましたという方が訪れていた。
- ・古本市に限らず、駅地下道など公共空間をイベント等に利用する価値は十分にあると感じた。